

News Release



令和6年4月8日

各報道機関文教担当記者 殿

第2回 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会 — 文理医融合、学生参加で「オール金沢大学」の復興支援 —

令和6年能登半島地震の発生直後から、金沢大学は石川県に立地する国立の総合大学として、公共性・公益性の高い情報の発信に向けた調査や、被災された方々に心から寄り添うための支援活動を展開してきました。1月30日には能登における教育・医療・文化・産業の復興・再生に資するため「能登里山里海未来創造センター」を設置、**文理医が融合し、教職員と学生が協働する「オール金沢大学」の体制**で活動しています。

この度、地震発生から3か月間に実施した、**「研究」・「医療」・「こころのケア」・「学びの支援」・「ボランティア」**のそれぞれの活動について、**能登里山里海未来創造センターの報告会**を下記のとおり開催します。

については、事前および当日の取材・報道をよろしくお願ひします。

なお、当日の取材をご希望の場合は、**4月18日（木）17時までに別紙取材申込書により申し込み願ひます。**

記

日	時	: 令和6年4月21日（日） 14時00分～16時00分
会	場	: 金沢大学宝町・鶴間キャンパス 十全講堂（金沢市宝町13-1）
対	象	: どなたでも
定	員	: 500名
内	容	: 金沢大学の教員及び学生が、令和6年能登半島地震に関する 現在までの調査内容、支援活動の状況について報告を行います。 (詳細は別添のチラシをご覧ください)

以上

【本件に関する問い合わせ先】

■ 報告会に関すること
能登里山里海未来創造センター事務局
長田（ながた）
TEL: 076-264-5010
E-mail: notomirai@adm.kanazawa-u.ac.jp

■ 広報担当
広報戦略室 川田
TEL: 076-264-5024
E-mail: koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

申込日：令和6年 月 日

取材をご希望の際は、
4月18日(木)17時までに、下記の宛先に本申込書を添付し、メールまたはFAXにてお申込みください。

【広報担当】

金沢大学広報戦略室

Mail : koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

FAX : **076-234-4015**

第2回令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会 取材申込書

報道機関名： _____

取材記者名： _____ 様

連絡先： _____ (_____)

同行者（記者を除く）： _____ 名

カメラ等の台数： _____

(例) テレビカメラ 1台

日時：令和6年4月21日（日）14：00～16：00

受付場所：金沢大学宝町・鶴間キャンパス 十全講堂

※別添の角間キャンパスマップをご参照ください。

※開始10分前の13：50までに受付を済ませてください。

令和6年能登半島地震 調査・支援活動報告会



第2回

金沢大学は、令和6年能登半島地震の発災直後からさまざまな調査活動や支援活動を行ってきました。この度、能登における教育・医療・文化・産業の復興・再生、そして継続的發展を強力に推進するため、1月30日に「能登里山里海未来創造センター」を設置しました。文理医が融合し教職員と学生が協働する「オール金沢大学」の体制で活動しています。

- プログラム -

開会挨拶・能登里山里海未来創造センターについて 14:00

谷内江 昭宏 (理事・副学長、能登里山里海未来創造センター長)

調査活動報告 (合同調査チーム「KUD」※1) 14:10

※1 金沢大学合同調査チーム

報告1 令和6年能登半島地震の震災遺構と震災復興ツーリズムの提案
青木 賢人 (人間社会研究域地域創造学系・准教授)

報告2 能登半島地震による文化財被災状況調査
足立 拓朗 (古代文明・文化資源学研究所・教授)

報告3 令和6年能登半島地震津波の特徴
由比 政年 (理工研究域地球社会基盤学系・教授)

支援活動報告① 15:20

報告4 奥能登における精神医療のニーズ
菊知 充 (医薬保健研究域医学系・教授、
附属病院神経科精神科長、子どものこころの診療科長)

報告5 震災後3か月間にKEYPAT※2が行ったところのケア
吉川 弘明 (保健管理センター長) ※2 全学メンタルサポートチーム

支援活動報告② 15:40

報告6 能登半島地震被災生徒に対する学びの支援
土屋 明広 (人間社会研究域学校教育系・准教授)
轟 亮 (人間社会研究域人文学系・教授)

報告7 ボラさばによる被災者の方へのボランティア支援活動
〔学生発表〕

西村 省吾 (理工学域地球社会基盤学類・2年)
稲葉 勇希 (理工学域フロンティア工学類・3年)
橋本 晃貴 (医薬保健学域医学類・5年)
藤木 くるみ (医薬保健学域保健学類・2年)

閉会挨拶 16:00

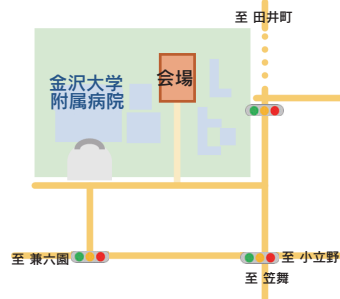
三浦 要 (理事・副学長)

令和6年
4月21日(日)
14:00 ~ 16:00

■対象 どなたでも
■定員 500名(会場)
オンライン参加も可能です

■参加費 無料
■会場 金沢大学 十全講堂
(金沢市宝町13-1)

※会場の駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関等をご利用ください。



詳細・参加のお申込み (会場・オンライン)



能登里山里海未来創造センターWebサイト
金沢大学WebサイトTOPページ、
または左の二次元コードからアクセスしてください

受付期間 令和6年4月18日(木)17時まで

※会場参加は定員に達し次第、受付を終了します。

主催・問い合わせ先
金沢大学 能登里山里海未来創造センター

(事務局 金沢大学総務部総務課)
e-mail: notomirai@adm.kanazawa-u.ac.jp